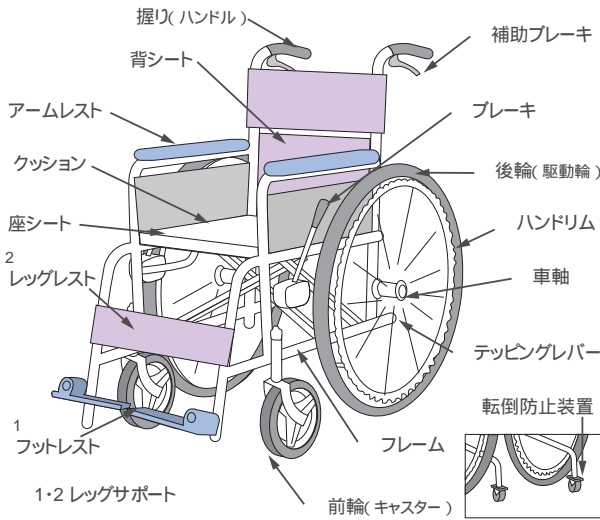


座る、移動する日常生活にやさしい自立と介護を。

車いすの名称



フレーム	車いすを構成している金属製の枠組み。多くは、軽くて丈夫なアルミ合金を採用しています。
後輪(駆動輪)	駆動力を伝える車輪。乗り心地の良い空気入りタイヤとメンテナンスのラクな空気無しタイヤがあります。
車軸	後輪の軸。一般的には背シートのパイプが車軸の取り付け位置になります。
ハンドリム	ここに手をかけて駆動輪を回し、車いすを操作します。
前輪(キャスター)	車いすの方向転換をしやすい車輪です。
ブレーキ	駐車するためのブレーキ。レバー式とトルク式があり、操作の簡単なトルク式が多く用いられています。
補助ブレーキ	制動するためのブレーキ。介助者が下り坂で多く使用します。
握り(ハンドル)	介助者が車いすを押すときの握り部分。介助者の腰の高さで握るのが使いやすい高さです。
テッピングレバー	レバーを踏むと前輪キャスターが浮き上がり、段差の昇り降りがラクになります。
転倒防止装置	車いすが後方転倒しやすいときに取り付けます。
座シートと背シート	車いす使用者が座る部分。スリングシート、張り調整シート、クッションシート等があります。
アームレスト	肘を乗せて姿勢を安定させるための肘当てです。標準型、デスク型などの形状があります。
フットレスト	足を乗せる台です。
レッグレスト	足が後ろに落ちないように、膝から下を支えます。
レッグサポート	フットレストとレッグレストの総称です。

【参考・引用文献】

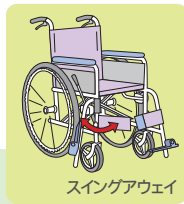
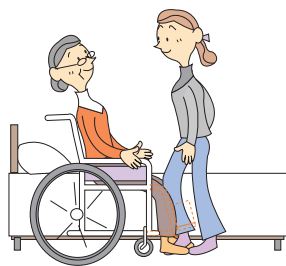
これで安心! 買う前に読む福祉用具の選び方 - 福祉用具ハンドブック 執筆者: 佐藤 晃(社会福祉法人名古屋総合リハビリテーション事業団) なごや福祉用具プラザ管理士

車いすの便利な機能

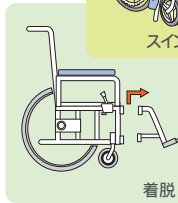
車いすに乗り移るときに邪魔になる部位がアームレストとレッグサポートです。これらの部位が着脱できると、乗り移る際に邪魔にならず、スムーズな移乗が可能です。特に高齢者の方は歳とともに乗り移る方法が変わりますので、アームレストやレッグサポートの着脱機能が付いたタイプがおすすめです。

レッグサポートの着脱・スイングアウェイ

レッグサポートを着脱したりスイングアウェイができると、乗り移りのときに介助スペースを広く取ることができます。



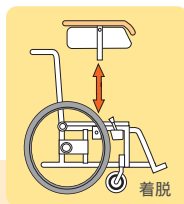
スイングアウェイ



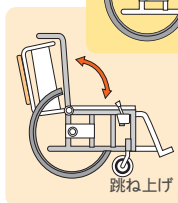
着脱

アームレストの着脱・跳ね上げ

アームレストを着脱したり跳ね上げることで、車いすに座ったまま横に移動でき、効率的にベッドに移ることができます。



着脱



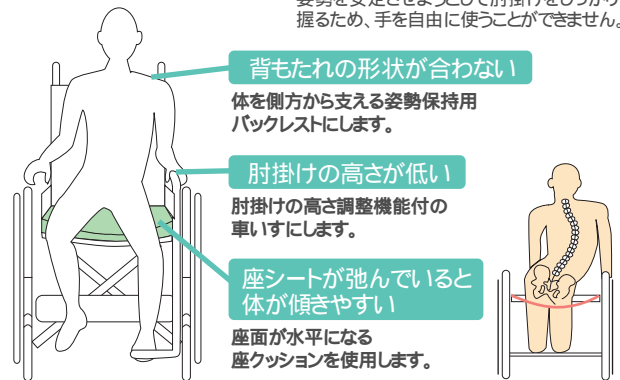
跳ね上げ

車いすに座ってのチェックポイント

機種が決まったら、実際に座ってみてください。座った時は良くても、操作したり、長い時間座っていると姿勢がくずれてくる場合があります。車いすが使用される方の体に合っているかどうか、実際に使用する条件に即して判断することが大切です。

体が横に倒れる

体のバランスが悪い場合に起こります。姿勢を安定させようとして肘掛けをしっかりと握るため、手を自由に使うことができません。



背もたれの形状が合わない

体を側方から支える姿勢保持用バックレストにします。

肘掛けの高さが低い

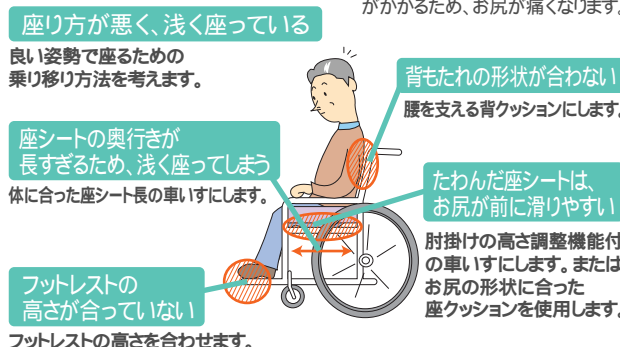
肘掛けの高さ調整機能付の車いすにします。

座シートが弛んでいると体が傾きやすい

座面が水平になる座クッションを使用します。

お尻が前方にずり落ちる

いわゆる「ずっこけ姿勢」のことで、ふだん体重の乗らないところに圧力がかかるため、お尻が痛くなります。



座り方が悪く、浅く座っている

良い姿勢で座るための乗り移り方法を考えます。

座シートの奥行きが長すぎるため、浅く座ってしまう

体に合った座シート長の車いすにします。

背もたれの形状が合わない

腰を支える背クッションにします。

たわんだ座シートは、お尻が前に滑りやすい

肘掛けの高さ調整機能付の車いすにします。または、お尻の形状に合った座クッションを使用します。

フットレストの高さが合っていない

フットレストの高さを合わせます。